

環境白書

2024 年



旭化学工業株式会社

目 次

◎ 会社概要

社内組織図

運用状況

環境報告

環境基本方針

◎ 環境委員会の活動

◎ ガソリンの削減

◎ 資源の有効活用・環境貢献シート

◎ 通い箱・灯油の削減

◎ 環境関連設備

◎ 地域環境への貢献

◎ 電力の削減

◎ 労働安全衛生委員会の活動



●会社概要

事業所所在地 : 石川県金沢市打木町東1401番地

設立 : 昭和26年6月

資本金 : 2000万円

従業員数 : 80名

売上高 : 760百万円

主な事業内容 : 自動車登録番号標・板金プレス加工一式
各種銘板・ネームプレート・焼付塗装
シルク印刷・屋外広告看板・シール
ステッカー・量水標



品質環境基本方針

当社は、環境問題が世界共通の最優先課題のひとつである事を全社員が自覚し、環境に配慮して活動を進めています。

基本理念

当社は、板金部品・プラスチック加工部品・看板・標識・銘板・ステッカー・自動車用ナンバープレートの製造・販売を通して、社会に役立ち、お客様に満足していただくとともに、常に環境負荷の低減と環境改善に努め、明日の地域社会の持続的発展に寄与できる企業を目指します。

基本方針

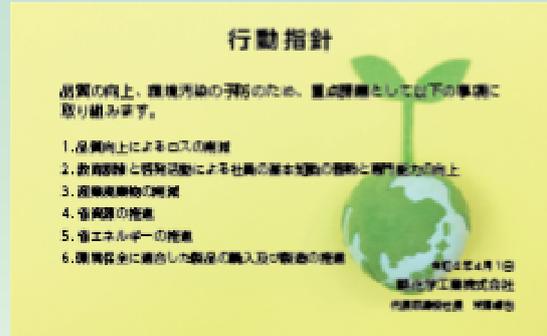
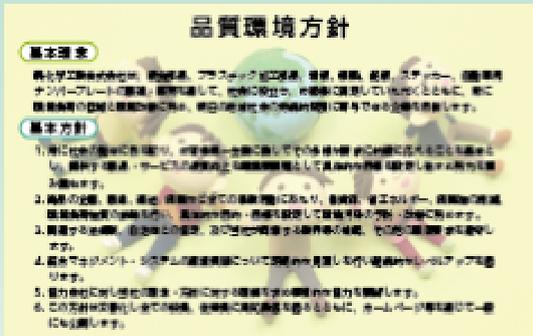
1. 常に社会の動きに目を配り、お客様第一主義に徹してその多様な要求に的確に応えることを基本とし、提供する製品・サービスの品質向上を最重要課題として具体的な目標を設定し弛まぬ努力を積み重ねます。
2. 商品の企画、製造、運送、廃棄など全ての事業活動にあたり、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、環境負荷物質の排除を行い、具体的な目的・目標を設定して環境汚染の予防・改善に努めます。
3. 関連する法規制、自治体との協定、及び当社が同意する業界等の規範、その他の顧客要求を遵守します。
4. 統合マネジメント・システムの運営実態について定期的な見直しを行い継続的なレベルアップを図ります。
5. 協力会社に対し当社の理念・方針に対する理解を求め積極的な協力を要請します。
6. この方針は文書化し全ての役員、従業員に周知徹底を図るとともに、ホームページ等を通じて一般にも公開します。

行動指針

- ・品質の向上、環境汚染の予防のため、重点課題として以下の事項に取り組みます。
1. 品質向上によるロスの削減
 2. 教育訓練と啓発活動による社員の基本知識の習熟と専門能力の向上
 3. 産業廃棄物の削減
 4. 省資源の推進
 5. 省エネルギーの推進
 6. 環境保全に適合した製品の購入及び製造の推進

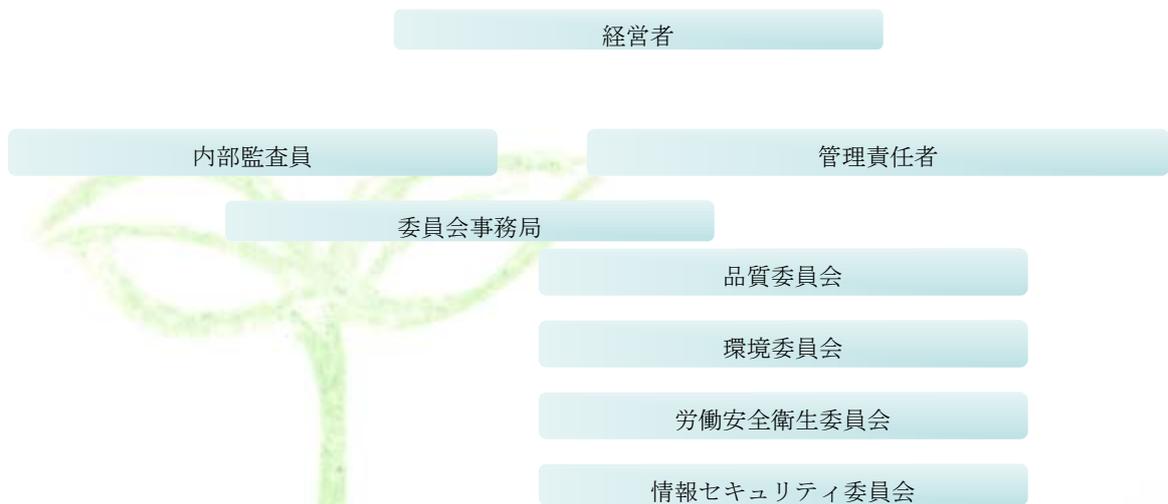
環境方針の通知

環境方針カードを当社全社員に配布し、環境に配慮して活動しています。



社内組織図

当社は、環境マネジメント・システムを取得後、以下のような組織を形成し、環境マネジメントの推進・改善・見直しを図っております。



運用状況

当社は

- 経営会議：年3回実施（4月・8月・12月）。12月はマネジメントレビュー。
 - 委員長会議：毎月一回実施。
 - 各委員会：毎月一回実施。
 - 営業会議：毎月一回実施
 - 製造会議：2ヶ月に一回実施
- を行い、環境のみならず、品質にも考慮して活動しております。

研修教育

当社は、委員会内教育のほかに、各種研修・社内勉強会を開催し、全社員スキルのアップを図っております。



一般社員研修



社内勉強会

体験学習

当社では、毎年中学生に体験学習を受け入れております。学校とは違った社会のルール・ものを作る喜び、厳しさを自ら体験し、何らかの利益を与えられるよう今後も続けていこうと思っております。



中学生による体験学習（わくワーク）



前年度の環境活動

●委員会活動

毎月定期的に委員会を開催することによって各活動の達成状況や進捗状況の確認をしたり、実際に社員から出された環境に関する改善提案の採用などについて話し合いをしたりしています。そのほかにも、含有化学物質等の調査や、PRTR 対象物質の調査などの活動も行っています。また事故などの未然の防止活動として、万が一の事故や緊急事態が発生した場合でも適切な対応が出来るよう、緊急事態対応マニュアルを作成し、定期的に緊急事態訓練を実施しています。悪臭による環境への悪影響が無いが、工場の環境パトロールを毎月定期的に行っています。



委員会の様子



環境パトロールの様子

●前年度の環境目標

企業の事業活動では、その活動の過程において様々な環境負荷が発生します。当社では、それら活動で発生する環境負荷を少しでも低減するために環境委員会が中心となり社員全員で多くの環境貢献活動に取り組みました。今年度、会社全体としてそれらの活動の目標として「環境目標」を下記のように決め、達成に向けて活動しました。具体的な到達点と実績は以下の表の通りです。

◎目標達成 ○努力して成果はあったが、わずかに及ばなかった ×未達成

内容	達成目標	結果	備考
ガソリン使用量の削減	前年度比 100%以上達成月を 8 ヶ月以上	×	5 ヶ月達成
灯油使用量の削減	前年度よりマイナスを目指す	×	累計 146.7%
環境貢献シートへの入力	年間 145 点以上(提案 3 点・貢献 1 点・資源の有効活用 6 点)	◎	合計 160 点
地域環境への貢献	年間 1 件以上・全社員 50%以上 or 環境委員 80%以上の参加	◎	1 件 環境委員 87%参加
通い箱	採用・提案 3 件以上	◎	採用 5 件
電力使用量の削減	前年度よりマイナス 1%	×	累計 109.5%
SDGs	社員全員が SDGs を認知し理解する	◎	達成率 100%

ガソリンの削減

● 目標と達成状況

当社では環境への取り組みとして、製品の運搬に使われるガソリンや軽油などの化石燃料の削減とそれによって排出されるCO₂の削減を目標として活動しています。

ガソリン（軽油）の削減に向けた具体的な目標を前々年度の各月の燃費を基準(100%)として同じ月のガソリンの使用量を削減させることを目標値として定め活動しました。前年度中に目標を8ヶ月間達成するということを目標に掲げたところ、5ヶ月間という結果で目標を達成する事が出来ませんでした。

また、今年も従業員全員にエコドライブの意識を高めていただくために、エコドライブ実施手順書が書かれたプリントを配布しました。



● 活動の詳細

毎月の各営業車の燃費を把握する為に、各営業車の担当者に協力してもらい毎月の走行距離と給油量を記録してもらいました。目標の達成にむけてエコドライブ評価表を作成し、取り組む毎月の月間目標を具体的に決めて活動しました。また燃費の向上に寄与するエコタイヤを導入したほか、中長期の目標としての低排出ガス車の導入も目指しています。

前年度実施した主なエコドライブ対策は以下の通りです。

- ・ 加減速の少ない運転の実施
- ・ 空気圧のチェックの実施
- ・ 石川県エコドライブ指導アドバイザー養成講習会への参加
- ・ 石川県エコドライブ推進事業所認定制度への参加
- ・ ふんわりアクセルの実施
- ・ 車間距離に余裕を持つ
- ・ エアコンを効率的に使用する



石川県エコドライブ推進事業所 認定証

資源の有効活用

●目標と達成状況

当社では製品の生産以外の分野に際しても環境負荷を低減するため社内で発生した資源が有効に活用することができないかを調査し、積極的に有効活用するようにしています。

前年度、当社では目標推進に向け資源の有効活用を環境貢献シートに盛り込みより一層の提案事項活性化に勤めました。



環境貢献シート

当社では環境貢献活動の一環として、環境貢献シートを作成しました。

環境貢献シートでは社員1人1人が環境に貢献したことの内容や新しい環境貢献の提案を募集しています。

●目標と達成状況

前年度の目標として年間145点以上（提案3点・貢献1点・資源の有効活用6点）の入力を目標としました。今年度は合計160点となり、目標を達成することが出来ました。

提案が1件の入力と少ないですが、資源の有効活用は31件の入力があり従来の入力よりも増加しました。

活動の詳細

主な内容は電力の削減や不用品の再利用など、とても優れた内容のものも多くありました。

また社員がそれぞれ行なった環境活動に関する入力も多数あり、環境意識の向上に寄与することができました。

A screenshot of a web-based form titled '環境貢献シート' (Environment Contribution Sheet). The form has a green header and contains several input fields for text and checkboxes. A pink banner in the middle of the form reads '環境貢献シートが先月9月20日よりスタートしました。' (The Environment Contribution Sheet started on September 20th last month.) Below the form, there is a green pencil graphic.

環境貢献シート

通い箱

●目標と達成状況

当社では、製品包装材料の削減・省エネルギー化リサイクル化について、通い箱化率を上げることを目指しました。

前年度、通い箱に関する目標を採用・提案を3件と設定しました。今年度は採用5件という結果で目標を達成することが出来ました。

活動の詳細

前年度は採用5件という結果で、その一例は通い箱として通いラックを使用する事により梱包費用を削減できました。

灯油の削減

●目標と達成状況

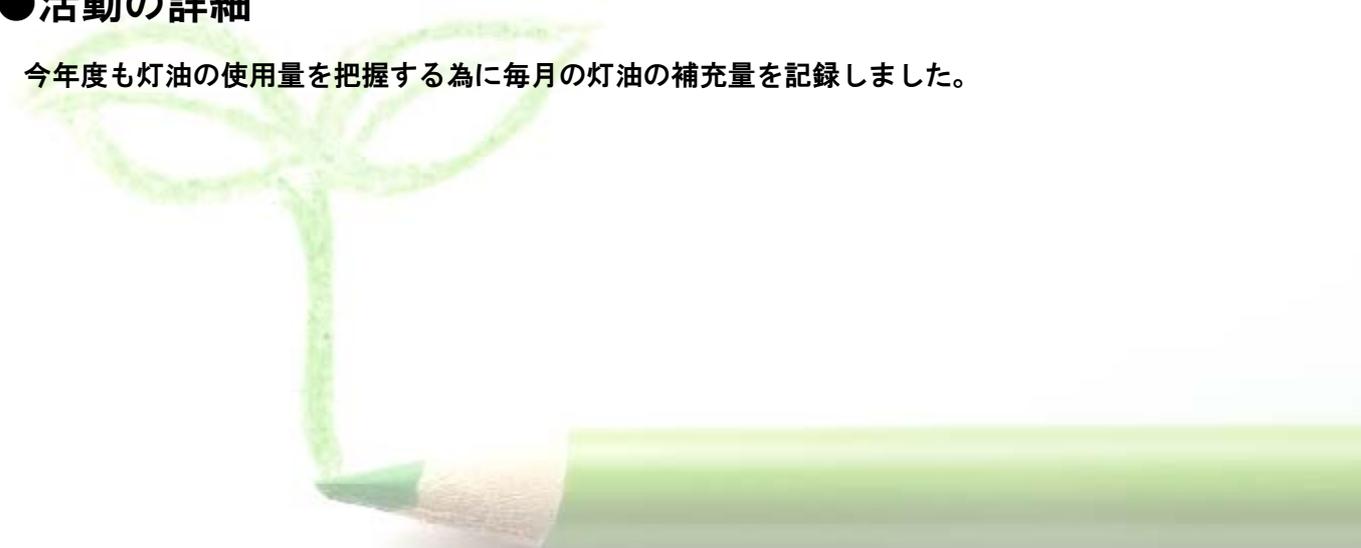
当社では環境への取り組みとして、灯油の削減とそれによって排出されるCO₂の削減を目標として活動しています。

灯油の削減に向けた具体的な目標を前々年度の各月の使用量を基準として同じ月の灯油の使用量を削減させることを目標として定め活動しました。

前年度の使用量は前年度に対し146.7%と増えてしまい、目標を達成する事が出来ませんでした。

●活動の詳細

今年度も灯油の使用量を把握する為に毎月の灯油の補充量を記録しました。



地域環境への貢献

●目標と達成状況

当社では環境貢献活動の一環として、社員一人ひとりが地域の環境の大切さを認識し、社会に貢献し地域環境を守ることを目指して活動をしてきました。今年度は年間1件以上の地域への貢献・参加人数を全社員の50%以上または環境委員の80%以上とする目標を決めて活動しました。コロナウイルスを考慮し環境委員だけの活動になりましたが、1回の地域の清掃活動を実施・環境委員の87%の参加と目標を達成することが出来ました。

●活動の詳細

地域の清掃活動の様子



SDGs

●目標と達成状況

当社では昨年からはSDGsの取り組みを開始しました。昨年度はまず社員全員がSDGsを認知し理解することを目標に活動しました。その結果、理解達成率100%となり目標を達成することが出来ました。今年度は各個人の環境貢献活動が17の目標のどれに当たるのかを各々が考えて取り組んできました。

●活動の詳細

- ・ セミナーへの参加
- ・ SDGsの資料の回覧
- ・ SDGsに関するYouTubeの視聴・本の閲読



電力の削減



● 目標と達成状況

当社では、製品の生産時工場で消費される電力とCO₂の削減に取り組んでいます。

電力の削減に関する環境の目標として前々年度よりマイナス 1%を目指すという目標を決めて活動しました。最終的な電力消費は前々年度比較で 109.5%となり、目標を達成することが出来ませんでした。

一年間で使用した電気の総使用量は 405,080kw となり、CO₂ 排出量は 101,877,579kg となりました。

● 活動の詳細

昨年度も、電力の削減を進め目標を達成する為に以下のような活動を実施しました。

- ・ デマンドシステムの利用
- ・ 各部門にエアコンの設定温度を決め、掲示
- ・ 各部門に不快指数計の設置
- ・ エアコンフィルターの定期清掃



デマンドシステムの利用



不快指数計の設置



労働安全衛生

年度安全衛生目標－労働休業災害の撲滅【毎月0件】

昨年度休業災害 0 件達成

●2022 年度安全スローガン

ハラスメントのないクリーンで安全な作業を

● 活動内容



一斉美化清掃



安全ポスター作成